

全国大会での活躍誓う

中里ジュニアクラブが全国大会へ

青森県陸上競技交流大会で5年男子100mと男子4×100mリレーで1位となり、全国大会を決めたメンバー6人が、7月15日(水)小野町長を訪問し、大会の報告をしました。

報告には、小野倅太郎くん(中里小5年)、松谷温翔くん(中里小5年)、北島優汰くん(小泊小6年)、米塚孔喜くん(中里小6年)、佐野凱春くん(中里小6年)、小沼史弥くん(舞戸小6年)が訪れ、6人それぞれが、町長に目標を伝えました。キャプテンの北島くんは「全国大会でチームベストを更新したい。各県の強い選手たちとたくさん交流したい」と意気込みをみせました。これに対して、小野町長は「良く予選を突破しました。会場の横浜市は、とても暑いと思うが、条件はみんな一緒。体調管理に気をつけて全力を出してほしい」と激励しました。

また、選手達は昨年に引き続き、函館市で行われる大会へ県の代表として招待されています。



女性活躍で地域活性化を目指す

佐藤イネ子さん女性のチャレンジ賞受賞

起業や地域活動などに挑戦し、輝いている女性を表彰する「女性のチャレンジ賞」に佐藤イネ子さん(薄市)が選ばれ、7月3日(金)に小野町長を訪問し報告しました。

佐藤さんは「楽しんでやってきたことが評価されて嬉しい。今後も続けて地域の活性化につなげたい」と抱負を語り、町長は「すばらしいの一言。町としてもより女性が活躍できるようにしていきたい」と話しました。



ジェフ先生お疲れさまでした

中里地域 ALT が帰国

中里地域を担当するALT(外国語指導助手)のジェフリー・ハーウィック先生が、7月24日(金)に小野町長を訪問し帰国の報告をしました。ジェフ先生は4年勤務し、中里地域の英語教育に携わってきました。先生は「4年間あっという間でした。中泊町が大好きなのでいつかまた訪れたい」と話し、町長は「4年間ありがとうございました。いつでも遊びに来てください」と感謝の言葉を伝えました。



武田クラブ奮闘

県スポーツ少年団軟式野球県大会

武田小学校武田クラブがスポ少軟式野球競技会各予選会を勝ち上がり、このたび、西北五地区代表で「青森県スポ少軟式野球競技県大会」に出場しました。

試合結果は第3位入賞と各地区代表の強豪クラブを相手に立派に戦いました。武田クラブのこれからの活躍が楽しみです。



サラブレッドとふれ合う

薄市こども園児が乗馬体験

長 泥にある中泊乗馬クラブ(竹内宏人会長)の練習場に7月11日(土)、薄市こども園ひまわり組の園児が訪れ、乗馬と餌やり体験を行いました。スタッフの補助のもと、園児が1人ずつ乗馬体験をしました。サラブレッドに乗ったときは想像以上の高さだったようで、最初は緊張した表情でしたが、馬がゆっくりと歩き出すと楽しそうに笑顔を見せていました。体験の後はサラブレッドとポニーに餌やりをしました。中泊乗馬クラブは土・日曜日の9時~14時に練習を行っています。見学や入会についてのお問い合わせは、クラブ長の山崎正貴さん(☎080-6029-2257)まで。



英語の歌で元気にダンス!

中里地域こども園で異文化交流

英語に親しんでもらおうと、つがる福音キリスト教会金木チャペルからマイカ牧師ら14人の外国人が7月21日(火)中里こども園を訪れ異文化交流会を行いました。外国人に興味津々の園児らは、すぐに14人の名前を覚え、元気よく挨拶をしました。その後、4つの班にわかれ、英語で歌とダンス、神経衰弱、絵描きクイズ、英語の絵本の読み聞かせをしました。歌とダンスでは、日本語で知っている歌を英語の歌詞で歌いながら、元気よく踊っていました。7月22日(水)には富野こども園で、24日(金)には薄市こども園でもマイカ牧師らが訪れ異文化交流会が行われました。

あまーい! すっぱーい!

ブルーベリー収穫体験

いつもお世話になっているお礼にと(株)アクトプランが管理しているブルーベリー農園に町内のこども園4園を招待し、ブルーベリー収穫体験を行いました。

園児らはたくさんのブルーベリーに目を輝かせ、持ち帰り用のカップに入りきれない量を収穫していました。収穫中に味見をした園児は「あまーい!おいしい」と笑顔を見せたり、「すっぱーい!」と顔をしかめたりしていました。食べることに夢中で収穫を忘れていたハプニングもありましたが、無事みんなで家族の分を持ち帰ることができました。



笑いの絶えないミュージカル

町小学校芸術鑑賞会

7月14日(火)総合文化センターパルナスで、町小学校芸術鑑賞会が開催されました。この日は、管内4小学校から全校児童が集まり、劇団め組のミュージカル「青い鳥」を観賞しました。

時折会場には笑い声が起こったり、食べてはいけないケーキを食べようとしたときには「ダメー!」と大きな声があがっていました。ミュージカルが終わると、会場には拍手が鳴り響きました。見終わった子どもたちは「ドキドキするところもあった。家に帰ったらお母さんとお父さんにも教えてあげたい」と笑顔で話していました。帰るときにはチルチルやミチルたちとハイタッチして帰りました。

防除作業の安全を祈願

航空防除安全祈願祭

航空防除作業を行っている(有)中里エアサービスと中里航空防除組合が、7月4日(土)にピュア隣の町集出荷予冷施設前で、防除用ヘリコプターによる作業前安全祈願祭を行いました。

晴天となったこの日はオペレーターら関係者28人が参加。作業に使用するヘリコプターを前にして1人1人が玉串を捧げ、真剣な面持ちで今期作業の安全を祈りました。

航空防除作業は7月下旬から9月上旬まで、町内外の水田や大豆畑で行われるとのこと。



地域で立ち直りを支える

社会を明るくする運動

社会を明るくする運動は65回目を迎え、犯罪や非行防止などを目的にそれぞれが力を合わせて行われる全国的な運動です。

7月1日(水)は保護司と更生保護女性会合わせて29人が参加しました。町内パレードに先立って保護司会の2人が同運動の中央推進委員長である法務大臣と県推進委員長の県知事のメッセージを読み上げて町長に伝達し、協力を求めました。

町長からは「朝早くから活動ご苦労様です。皆さんの活躍によって当町は無事平穩に過ごせている。今後ともお願いしたい」と話しました。パレード一行は、このあと町内11施設を巡回し、この運動をPRしました。

地元小学生も健闘

第10回津軽地区小学生卓球選手権大会

練習の成果を試す卓球大会が、7月5日(日)町体育センター行われ、中里クラブや武田小学校、小泊小学校の地元小学生をはじめ、交流のある六ヶ所村や津軽地区を中心に200人を超える選手たちが参加しました。

今年は、東奥学園の卓球選手たちがゲストとして登場し、子どもたちとデモンストレーションを行いました。子どもたちは、少しでも吸収しようと1球1球大事に打ち返していました。試合が始まると、ガッツポーズや大きなかけ声が会場に響き、試合に掛ける思いが伝わってきました。



男子が健闘

井沼清七杯争奪リレーカーニバル

快晴に恵まれた7月12日(日)、町総合運動公園で井沼清七杯争奪リレーカーニバルが行われました。大会には町内外から458人の選手が参加しました。中泊町選手の上位入賞は次のとおりです。

男子(全員中里ジュニアクラブ所属)…4年

100m 1位外崎隼矢 / 5年100m 2位小野倅太郎、3位松谷温翔 / 6年100m 2位北島優汰 / 4×100mリレー 2位/共通走幅跳 3位小沼史弥

女子…4年100m 2位佐藤姫来

